東京国税局管内納税貯蓄組合連合会　優秀賞

正確な税金に関わる人達

船橋市立芝山中学校
第三学年　堀口　栄渡

二年前、大好きだった私の祖母が病気で亡くなりました。祖母の家を片付けるのに悲しんでいるひまもなく、やらなければならないことは膨大でした。特に「祖母が亡くなる日までの払うべき税金や料金」「相続にかかる税金」等、期限内に納めなければならない税金があり、家族全員初めてのことだったので混乱していました。このままでは何も進まないと判断し、以前祖父が亡くなった時に祖母が税務署で無料相談をしていた税理士を家に連れてきた事を思い出し、税理士に家族は連絡しました。そこで税理士は支払うべき税について、私達家族でもわかるよう説明してくれました。私や妹も今後世代が変わっておこるであろう払うべき税金について一緒に話を聞きました。二時間半ほどの会話が終了して、手続きには市役所に行って書類をたくさん用意したり、相続する全ての人の書類、書類作成を頼む行政書士という役職があること、その方と連絡を取ること、これから短い時間で全てこなせるのか、今は両親の代での作業だけれども、私の代でそれを一人でできるのか不安になりました。祖母が亡くなって暫くして、税金の支払いが終わり家族内での混乱や不安が無くなったかに思いましたが、祖母は小さなアパートを経営していて、その経営に関わる税金を確定するために、税務署に再度行って両親や親戚達は手分けをして、詳しく教えてもらいました。私も付いて行ってパソコンや携帯電話を使って便利になりましたよ、と係の人は言っていたけれど、税金の額を決めたり、所得がどのくらいになっているのか調べたり、本当に大変な作業だなと感じました。

私はこの出来事を得て、大切な人やかけがえのない誰かが亡くなることで、その家族は亡くなった後に税金を支払わなければならない事、正確な税金を払う為に、沢山の人々が正確な税金額を出す仕事をしていることがわかりました。税金を払う人だけではなく、たくさんの人の力で税金は正しく徴収されています。税金はどんな人の生活でも不可欠です。税金があるおかげで社会は成り立っています。祖母を運んでくれた救急車だって税金です。もしも税金が存在しなかったら学校にも満足に行けなくなり多くの人は勉強もできません。税金に対して難しいと今でも思うけれど、それを丁寧に詳しく説明してくれる職種の人もいます。私は正しく税金を人々から頂く仕事は、大変であるけれど、全て出会った人達が誇りを持って仕事をしていたので、とても尊敬しました。税金で、お年寄りの生活を負担したり病気や障がいがある人などの支援、私達が利用する学校や公園など、未来の社会を担当する子どもに多く使われる大切な財産です。その子どもたちが将来大人になり新たな社会を担って、より良い生活になるよう大切な税金を正しく徴収し活用できる社会をつくっていきたい。